

郷土資料館 令和2年度企画展

「八王子の天災と疫病」（後期）開催中

令和3年（2021年）は東日本大震災から10年目となります。

郷土資料館では、「災害について考える」をテーマに前期・後期の二期にわけ災害史の展示をおこなっています。後期では地震と大火（火災）を取り上げます。

八王子はこれまで甚大な地震被害を受けていませんが、地震に関する資料は残されています。宝永地震（宝永4年10月4日）に連動して発生した富士山噴火の火山灰が八王子にも降っています（写真3）。また、大正12年（1923年）の関東大震災では東京市や横浜市からの避難者を八王子で受け入れました。地震被害の少ない八王子ですが、まちの発展は火災との闘いの歴史でもあります。明治30年（1897年）の八王子大火では、まちの三分の二が焼失する被害を受けました。過去の災害を伝える50点の資料を通して現在の防災や減災を考える機会となれば幸いです。

1 会 期 2月17日（水）～3月31日（水）

2 会 場 郷土資料館1階常設展示室（上野町33、電話042-622-8939）

3 主な展示



●写真1 八王子町火災惨状之図
（『風俗画報』第140号）

●写真2
関東大震災で倒壊した
八王子織物同業組合事務所



●写真3 宝永の富士山噴火の噴出物

<問合せ> 生涯学習スポーツ部文化財課長 菅野
電話042-620-7265